



## 愛川ふれあいの村 8月の風景

# 平成29年8月 自然のたより

野生の生き物も人と同じで、暑過ぎるとあまり活動をしないようです。日陰で休んでいるのでしょうか、生き物の気配を感じません。とはいえ、暦の上では秋です。虫たちは既に秋を感じているのでしょうか。村ではキリギリスやツクツクボウシが鳴きはじめます。虫の声を聞くとより秋を感じとれますね。



ツマグロヒョウモン



樹液に集まる昆虫



スベリヒユ



クサギ



ポタンクサギ



センニンソウとハナグモ



仏ねばちとハナカズメ



カノコユリ



キツネノマゴ



ドクツルタケ



ツユクサ



ウバユリ



オシロイバナ



アキアカネ



ウスモンズメ



## ◆夏の星座散策◆

夏休みに入り、いろんなところへ出掛ける機会が増えていっているのではないのでしょうか。海や山などでキャンプをするのは、夏の自然を満喫するにはうってつけです。

特にオススメなのが、夜の星座観察。夏の星は、小学4年生で習う有名な『夏の大三角』があります。はくちょう座の「デネブ」・わし座の「アルタイル」・こと座の「ベガ」の1等星（※）3つを指して、「夏の大三角」と言っています。探し方は、8月だと20時頃に、南の空を見上げれば、「十字」の形をした星が見つかると思います。それが、はくちょう座です。はくちょう座の少し東にある星が、わし座。はくちょう座から少し西に位置するのが、こと座です。

またははくちょう座が見つければ、天の川を探すのも簡単。十字の縦に沿って、天の川があります。街の明かりが少ない場所だと、よりはっきりと天の川を確認することができます。

もう一つ、夏の星座で代表的なのが、さそり座です。英語のS字の形をしている星座で、1等星の「アンタレス」が有名です。アンタレスの語源は、「アンチ・アレス」で、火星（アレス）に対抗するものという意味です。古来の人は、火星のように赤く輝く星を不気味がって、アンチ・アレスと名付けたそうです。

日中の暑さを忘れて、涼しくなった夜に、星座散策をして過ごすのも楽しいひと時です。

（高橋）



（写真はイメージです）

※1等星とは、恒星中、最も明るい星のこと。1等星以上の星は、21個ある。

## ▼夕焼け小焼けの▼

♪夕焼け小焼けの 赤とんぼ

負われて見たのは いつの日か♪

秋が近づいてくると、田んぼや里山には「赤とんぼ」が飛び始めます。赤とんぼと言ってもいくつもの種類があることを知っていますか？国内には21種類のアカネ属のトンボのことを総称して「赤とんぼ」と言われています。代表的なものは「アキアカネ」。村内では「ミヤマアカネ」を見ることができます。

オスは赤色が強く、メスは黄色がかっていたり、気候でも色が変わります。どんな赤とんぼがいるかを調べてみるのも、楽しそうですよ。（渡部）



## ★ミョウガ★

ミョウガはどの部分を食べているかご存知ですか。この時期は花穂（かすい）と呼ばれる部分を食べてすることができます。花穂の中には蕾が10個ほど入っています。ここから白い花が顔を出すので『花みょうが』とも呼ばれているのです。

そんなミョウガですが、昔から「食べると物忘れがひどくなる。」と言われていました。しかし近年、香りに集中力を高める効果があることがわかったそうです。

暑さでだらけがちな夏にミョウガを食べてピシッと引き締め、仕事や勉強に励みましょう。（清水）



## ◎九月の注目ポイント◎

風に乗って「リイリイリイリ」と威勢の良いミツカドコロギの音が聞こえてくると初秋を感じます。

昼の暑い最中に鳴くのがキリギリス。「ギーチョンギーチョン」と鳴いている傍に近づくと、なかなか見付けにくい。少し離れてしばらく声を聞いてみると、どこからともなく体長4センチほどのキリギリスがゆっくりと現れた。長い触覚を風に揺らしながら歩いていたが、立ち止まるとまた一声「ギーチョン」と鳴いた。草木に同化した色合いに感心していると見失ってしまった。

最近はいなくなってきたようだが、この辺りで「ガチャガチャガチャ」と鳴くクツワムシの声も聞かれたが、今はどうだろう。鳴く虫の代表格、エンマコオロギの美しい音色が聞こえて来ると秋の深まりを感じることでしよう。

ふれあいの村で、鳴く虫の音楽会を是非楽しんでください。（吉田）



発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611 HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・石川雄馬・高橋博・渡部秋人・清水友哉

文章：吉田文雄・石川雄馬・高橋博・渡部秋人・清水友哉

編集：吉田文雄・渡部秋人・石川雄馬



愛川ふれあいの村で、検索★